

## 1. 研究背景・目的

日本橋の老舗が多く集まる室町地区では、乱雑に配置された看板、通行を妨げる路上駐車、地元の街づくりの意識の低下など多くの問題を抱えており、都市再開発の進む日本橋室町地区（図 1）の中に取り残されているのが現状である。そのため地域一体となった街づくりへの取り組みが早急に必要とされている。

筆者は日本橋地区を中心に街づくり活動を行う日本橋学生工房に所属し、地域住民との交流を通じて住民の参画意識を高める活動を行っている。学生工房の活動拠点でもある室一仲通り商店街においては、電線地中化や舗装改善計画が実施されることも決まり、地元における街づくり意識も高まりつつある。しかし多くの住民は街づくりにおける意識が未だ低いのが現状である。

そこで本研究は室町地区の住民を対象に、CGを活用し未来の街の姿を視覚的に見て、考えてもらうことで街づくりを身近に感じてもらい、街づくり参画意識向上に繋げていくことを目的とする。

## 2. 研究シナリオ

研究方法の全体像を図 2 のフローに示す。最終的にCGを操作することで住民の街づくり参画意識に変化が見られるのか、アンケート調査を行い検証する。まず現状のCG・改善イメージCGを作成する。使用するCGソフトは比較的簡単であり、操作性も高いUCwin-road（FORUM8社製）と3ds-max（Autodesk社製）を使用する。改善CGには学生工房での活動を通じて得た住民の意見等も取り入れる。次にCG操作時の教科書的な役割としてマニュアル化した冊子を作る。最後にアンケートを作り、まとめたCGとマニュアル書と共に住民へ約一週間貸し出す。住民にはマニュアル書に従いCGを操作して頂き、使用前後にアンケートに答えてもらう。回収

されたアンケートを基にCG利用前後でどのような街づくり意識の変化が見られるかを検証する。



図 1 室町地区図

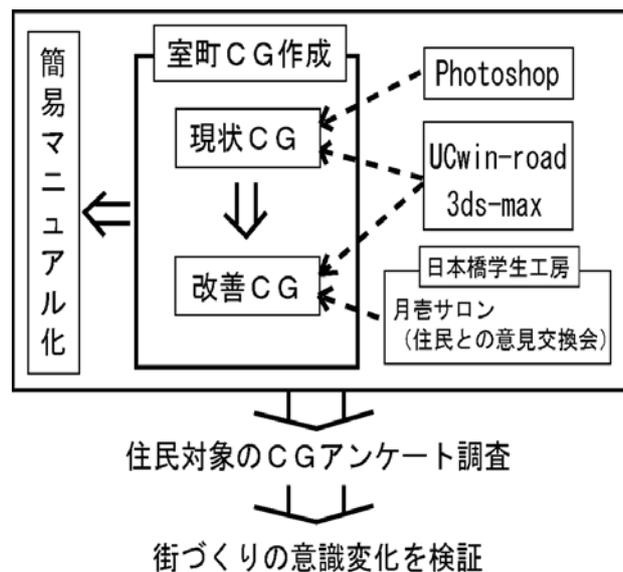


図 2 研究全体フロー

### 2-1 現状CGの作成

まず室町平面図より対象地域内の建造物の縦・横の寸法を求める。高さにおいては階数ごとで色分け

されている図を基に階高2.5m~3mで高さを求める。各寸法を基にCG上で直方体を作り、CG上の地図へ配置していく。図3に示す様にリアリティを持たせるため、各構造物の壁面写真を収集しPhotoshopで合成した物を直方体へ貼り付けていく。

### 2-2 改善イメージCGの作成

室一仲通り商店街の問題である、景観改善をテーマに、壁面を白色・木目色・茶色の各色で統一したCGを作成する。白色にすることで清潔感・開放感、木目色と茶色では歴史と温かみといった効果が期待できる。作成した一例を図4に示す。またUCwinでは表現出来ない特異な形状のモノは3ds-maxで作成しUCwinへと取り込む。図5に一例を示す。

### 2-3 CG簡易マニュアル書の作成

マニュアル書作成にあたり、以下の点に注意した。  
 パソコン初心者の人を想定しパソコン用語をなるべく使わず、絵を中心とした説明を載せた。  
 見ていて不快感を与えない様に10ページ程度の簡単な構成にした。

図6にマニュアル書の一部を示す。

### 2-4 CGアンケート調査・結果

質問項目として街づくりに対する興味関心、町内集会への定期的参加の有無を選択式で質問し、商店街における問題と改善へむけた具体的なアイデア等を記述式で質問した。現段階でCGアンケートを受けて頂いた三名の意見を紹介する。

問 CGを利用して感じた景観的問題・改善のアイデアを教えてください。

- Aさん：入り口のゲートをきれいに改装して、清掃運動をしたらいい。
- Bさん：色や素材で統一するのは難しいと思うが統一感を持たせることは必要。
- Cさん：駐車禁止看板等の除去。通りでの統一は無理でも何割かの商店が雰囲気揃えただけでもきれいに見えると思う。

CG利用後のアンケートの方が町の人々の具体的な意見や思いが書かれていた。現在回答者は3名に留まるが学生工房の活動が終わるまで継続していく。

### 3. まとめ

3名の結果からCGを利用することで街づくりへの興味関心を持たせる事が出来ると思う。しかし



図3 様々な視点からの眺め（現状CG）



図4 現状と白色で統一された壁面（改善CG）

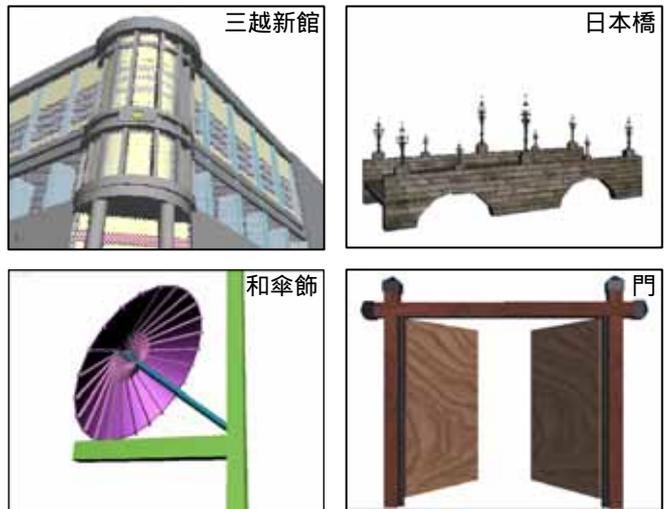


図5 3ds-max を用いて作成したCG

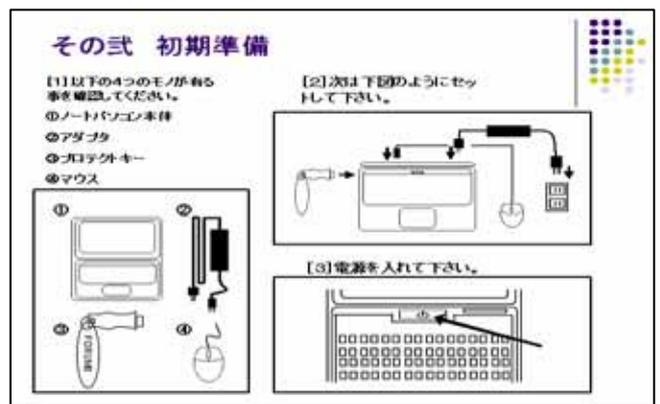


図6 マニュアル書一部分

CGを利用するだけでは集会等への参加意欲を与えるまでには至らなかった。今後の課題として街づくりへの意識を持った人々に対して、どのようなアプローチをとれば街づくり議論の場へ参加してもらえるのかを考えていくべきだ。